



北九州穴生ドーム

審 議 日 程

9月6日(水)	本 会 議	(開会) ・議案上程、提案理由説明
11日(月)	本 会 議	・質疑、決算特別委員会設置、付託
12日(火)	本 会 議	・一般質問
13日(水)		
14日(木)	本 会 議	・一般質問
	決算特別委員会	・3分科会設置
18日(月)	決算特別委員会	・各分科会で議案審査
22日(金)		
25日(月)	決算特別委員会	・採決
26日(火)	本 会 議	・決算特別委員長報告、討論、採決
27日(水)	常任委員会	・議案審査
28日(木)	常任委員会	・議案採決、請願、陳情審査
29日(金)	本 会 議	・各常任委員長報告、討論、採決 ・追加議案上程、提案理由説明、採決 ・議員提出議案上程、提案理由説明、採決 ・請願、陳情採決 (閉会)

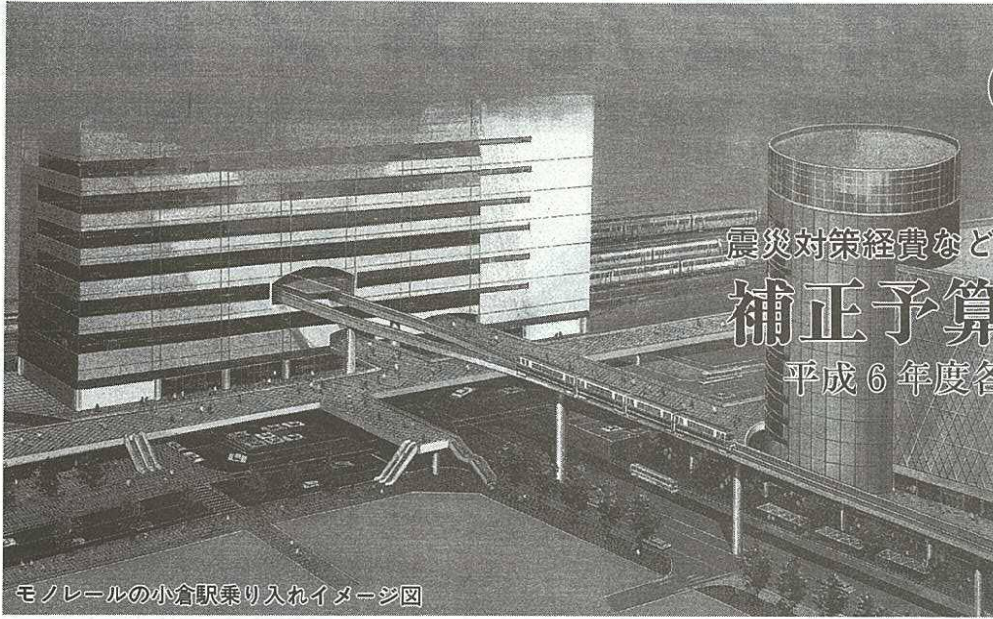
— 9月定例会開かれる —

平成七年九月北九州市議会定例会
が、九月六日から二十九日までの二十
四日間の会期で開かれました。

市長から平成六年度決算など六十四
件の議案が提出され、審議の結果、す
べての議案を可決(認定)しました。

また、議員から提出された議案は条
例五件、意見書・決議八件で、そのう
ち条例一件を含む六件を可決しました。

9 月定例会



モノレールの小倉駅乗り入れイメージ図

震災対策経費など

補正予算総額を可決

42 億円を可決
平成 6 年度各会計決算を認定

市長が提出した

議案

(主なもの)

平成六年度決算

区 分	企業会計 (上水道など 5 会計)
収 入 ④	1,091 億 7,850 万円
支 出 ⑤	1,235 億 9,251 万円
形 式 収 支 ④ - ⑤ = ⑥	△ 144 億 1,400 万円
補てん財源等 ⑦	150 億 5,178 万円
単年度実質収支 ⑥ + ⑦	6 億 3,777 万円

区 分	一般会計	特別会計 (国保など 20 会計)
歳 入 ①	5,183 億 2,216 万円	3,869 億 2,014 万円
歳 入 ②	5,096 億 6,286 万円	3,810 億 3,774 万円
形 式 収 支 ① - ② = ③	86 億 5,929 万円	58 億 8,240 万円
繰り越すべき 繰上り財源 ④	68 億 1,481 万円	4 億 3,014 万円
繰下すべき 繰上り財源 ⑤	18 億 4,448 万円	54 億 5,226 万円

※単位千円以下切り捨て

平成六年度決算

市条例の制定または改正

○心身障害者扶養保険約款の一部改正により、脱退一時金

の創設、掛金額の引上げを行うもの

工事請負契約の締結

○仮称新皇后崎工場スーパーごみ発電設備工事を一四億九八二六万円円で契約
○仮称第一かんびん資源化センター建設工事を八億九五八万円円で契約
○門司海青小学校建築工事を八億七、三四四万円円で契約
○門司中央小学校建築工事を七億五、九一一万円円で契約

工事委託協定の締結

○都市モノレール小倉線の延伸及び JR 小倉駅南北公共連絡通路新設に伴う小倉駅構内等工事を、五三億二一九万円委託
○若松区大字塩屋の土地二万四、五三三㎡を、北九州学術・研究都市整備事業用地として二億二、五七二万円取得

土地の取得

平成七年度補正予算

区 分	補正額	補正後の額
一般会計	35 億 8,362 万円	5,169 億 9,062 万円
特別会計	5,869 万円	3,965 億 6,471 万円
企業会計	6 億 2,400 万円	1,276 億 3,856 万円
合 計	42 億 6,632 万円	1 兆 411 億 9,390 万円

資産公開条例を可決

本定例会で、市長及び市議会議員の資産公開等に関する条例が、それぞれ可決されました。市長、市議会議員から提出される報告書の内容は次のとおりです。

- 1 資産等報告書（不動産、預金等の保有状況を記載）
- 2 資産等補充報告書（毎年新たに得た資産等を記載）
- 3 所得等報告書（前年の所得を記載）
- 4 関連会社等報告書（就任している会社等の役職名等を記載）

なお、この条例は、平成 8 年 1 月 1 日から施行。資産等報告書の閲覧開始は、平成 8 年 6 月以降です。



議員が提出した

議案

(可決したもの)

○フランス及び中国の核実験中止を求める意見書
○門司検疫所の本社機能の維持に関する意見書
○日米地位協定の見直し等を求める意見書
○輸入の促進及び対内投資事業の円滑化に関する臨時措置法の延長・拡充に関する意見書
○基本的な人権の尊重とあらゆる差別をなくす決議
※意見書は、内閣総理大臣等に送付しました。

請願・陳情

(採択したもの)

請願
○無年金の在日外国人障害者及び高齢者に対する年金制度の代替措置について、のうち・厚生省による完全な遡及処置がなされるまで、市独自に、日本人の年金受給者と同程度の給付が受けられるような制度を創設すること
○在日朝鮮・韓国人高齢者及び障害者に対する給付制度について、のうち
・障害者基礎年金等の支給対象から除外されている在日朝鮮・韓国人障害者に対して、差別的取り扱い解消のため、市独自の給付制度を実施すること
○八幡中央区商店街近代化のための財政支援について
陳情
○都市計画道路湯川東谷線の整備について

質問と答弁

本会議で、16人の議員が、議案や市政全般について、質問を行いました。その中から、いくつかをとりあげました。



平成六年度決算

の特徴

議員 非常に厳しい財政環境のなかで運営された、平成六年度一般会計の決算の特徴について伺います。

財政局長 六年度は、前年度に引き続き景気が低迷したことや、景気対策としての特別減税が実施されたことから、決算にも、その影響が大きく出ています。

歳入面では、特別減税の実施により、個人市民税が前年度に比べ三・二%の減と本市始まって以来、初めて前年度を下回りました。

また、特別減税等に伴う減税補てん債の発行や、地方財政全体の財源不足の補てんのための財源対策債の発行等により、市債が前年度に比べ二九・八%の増になりました。

一方、歳出面では、景気対策の一環として諸事業を積極的に推進したことにより、投資的経費が前年度に比べ二・

八%の増と、前年度の伸び率を一・二ポイント上回りました。

しかし、こういった厳しい財政状況にあつて、健全な財政運営を心掛けた結果、実質収支は二十八年間連続の黒字となりました。

政治倫理の確立へ 資産公開

議員 政治倫理の確立のため、市長の資産等公開条例案が提案されています。

政治倫理の確立のためには、
①政治倫理基準を定めること
②資産公開の対象を市長のみでなく配偶者等も含めること
③実効性を確保するため審査会を設置すること、などの規定が必要と思いますが、いかがですか。

市長 この条例案は、国の資産公開法の規定に基づき、国会議員と同様の制度を設けるものです。

その目的は、公選された市長が、その資産等を市民の前

に明らかにすることにより、自ら襟を正すとともに、職務の公正を示すことにあります。資産公開制度が政治倫理確立のための手段のすべてとは考えていませんが、この制度によって、一歩前進するものと考えています。今後とも、市民の信頼を損なわないよう、公正かつ厳正な市政運営に努めてまいります。

総務局長 資産公開の対象者の範囲を配偶者等にまで拡大することは、プライバシー保護の観点から適当ではないと考えます。

また、公開した資産等の内容は、閲覧を通じて市民の評価を受けることとなり、審査会の設置等はなじまないものと思います。

門司港レトロの 魅力アップ

「JUNPOR」

▼西海岸地区の活用策▲

議員 門司港レトロ口地区は多くの観光客が訪れ、にぎわいをみせています。

今後さらに魅力あるものにするため、隣接する西海岸地区の活用策を検討すべきではありませんか。

市長 これからの門司港全体を考えていくうえで、和布刈方面とともに、大規模なオープンスペースのある西海岸地区の対応が大変重要になっ

てきます。

従来、西海岸地区は貨物ふ頭として整備してきましたが、外航客船が寄港できるふ頭へ性格変える必要があるのではないかと思います。

また、この地区は、県と一緒に調査している県立拠点文化施設の候補地の一つとしても考えています。

いずれにしろ、西海岸地区の総合的な利用計画をつくる時期にきており、地元の見解を聞きながら、早急に調査に着手したいと思います。

訪問給食サービス

好評につき 地域を拡大!

議員 昨年十月から市内三カ所で、訪問給食サービスモデル事業が実施されていますが、その現状と課題についてお聞かせください。

また、事業を市内全域に拡大すべきと思いますが、いかがですか。

保健福祉局長 この事業は、調理が困難な一人暮らしの高齢者や重度障害者の在宅生活を支援するため、公民館や老人福祉施設等で調理した弁当をボランティアが自宅に届けるものです。

現在、門司、若松、八幡東区の市内三カ所で、一日一食週四日、一カ所あたり四十食一食四百円で実施しております。



す。利用者からも大変好評を得ています。

この事業については、利用者の健康の維持改善、安否確認などの効果が認められる反面、食中毒などの衛生管理対策、協力員の確保や事業コストの問題などがあります。

なお、この事業は、本年十月から小倉北区と戸畑区にモデル地域を拡大することにしており、残る小倉南区と八幡西区については、来年度中に実施する方向で検討したいと考えています。

サッポロビール九州工場存続を!

▶市議会議員らがつどいを開催◀



9月28日、「サッポロビールを愛飲し九州工場の市内存続を熱望するつどい」が、市議会正副議長と各会派の代表者らが発起人となって、北九州国際会議場で開かれました。

当日会場には、市議会議員や市職員ら約700人が詰めかけ、招待されたサッポロビール関係者を前にして、工場の市内存続へ向けた地元の熱意をアピールしました。

※市議会では、6月定例会で市内存続を要請する決議を全会一致で可決、東京本社へ直接存続を要請しました。

サッポロビールを愛飲し九州工場の市内存続を熱望するつどい

市官接待に対する

市の考え方

議員 中央官僚等に対する接待、いわゆる市官接待が問題になっていきます。これに対する市の考え方についてお尋ねします。

市長 市の施策を円滑に進めるための国との情報交換等を行う際の接遇については、その経費が公費をもって賄われていることから、市民の誤解や不信感を招かないよう、必要かつ最小限の執行に努めるべきと考えています。

本市では、昨年三月、他の団体に先駆けて、食糧諸費の執行について独自の基準を定めて、周知徹底を図ってきました。

その結果、六年度の食糧諸費の決算額は、前年度に比べ約一割の減少となっています。今後とも、この基本的な考え方に基づいて、厳正な執行に努めていきます。

これからどうする

北九州市の農業

議員 このたび、都市型農業の振興を図るために取り組むべき施策を盛り込んだ報告書が、学識経験者や生産者、消費者などからなる検討委員会から提案されました。

市は、早急に農業総合計画

を策定すべきと思いますが、今後のスケジュール等をお聞かせください。

経済局長 この八月末に、報告書の提案がありました。そこで、八年度から十七年度を計画期間とする農業総合計画を今年度中に策定し、また、来年八月を目標に第一次実施計画（八年度～十二年度）を策定することになっています。

人権・同和問題啓発

フェスティバル

議員 十月二八、二九日の二日間、人権・同和問題啓発フェスティバルが西日本総合展示場と国際会議場で開催されます。このフェスティバルは、全国規模の啓発事業でもあり、大変意義深いものです。フェスティバルのねらいや内容についてお尋ねします。

保健福祉局長 このフェスティバルは、「見つめていこう人権の時代」をテーマに、市民に同和問題をはじめ様々な人権問題について考えてもらい、人権意識の普及高揚を図るものです。

フェスティバルでは、同和問題の早期解決に向けて、改めて国民的課題として展開するため、国や地方公共団体などの各種事業を総合的に実施します。

多くの市民に親しみをもって参加していただくため、明

るく楽しいイベントにして、啓発効果をあげたいと考えています。

事業内容としては、国際シンポジウム、資料の展示、トークショー、物産展、郷土芸能、コンサートなどを予定しています。

戸畑駅南口

土地区画整理と

地元商店街の活性化問題

議員 戸畑駅前の土地区画整理事業に伴い、大手スーパーが進出しようとしています。地元商店街や市場からは、強い反対の声があがっています。市はどのように考えていますか。

市長 戸畑駅前の広大な土地の利用については、戸畑の活性化の観点から、土地所有者や関係者の間で検討してきました。その結果、土地区画整理事業として整備することになっています。

同区域には、公共施設、商業施設、福祉関係施設などが考えられていますが、これら上物施設の最終案については、現在市を含めた各地権者で検討されているところです。

商業施設の一番の問題は、地元との商業調整と考えています。地元商店街の皆さんと共存共栄していくためには、どんな具体策があるか、努力を重ねていかなければならぬと考えています。

平尾台整備構想

平尾台の整備構想に関し、議員から「観光開発の収益の一部を環境保全に役立てるグラウンドワークトラストの導入や、ロープウェイ建設の実現について」質問がありました。

企画局長は、「グラウンドワークトラストの導入は、日本でも非常に珍しいケースです。どのような形で環境保全を行うか検討しており、ぜひ、実現させたいと考えています。

また、ロープウェイは平尾台上る車の数を減らすとともに、冬期にも安定した輸送機関となります。また、それ自体が一つの魅力ある観光資源になります。資金計画等の多くの課題もありますが、実現に向けて努力します」と答えました。

民間アパートに

補助金！

▼特定優良賃貸住宅制度▲

議員 昨年度、住宅供給公社が建設した特定優良賃貸住宅は大変好評です。若年層の市内定住や、民間賃貸住宅の建設促進に貢献するものと期待しています。

この制度の内容と今後の建設のスケジュールについてお聞かせください。

建築局長 この制度は、いわゆる中堅所得者に対し、良質な賃貸住宅を供給することを目的としています。昨年度は、小倉南区企救丘に百戸建設され、入居者の七二％が二十～三十歳代の方で占められています。また、市外からの転入者も三十二世帯を数えるなど本市への定住促進にも役立っています。

本年四月から公社に加え、民間を対象にした同制度をスタートさせることにしています。

この制度では、土地所有者が良質な賃貸住宅を建設し、

一定の条件のもとで適正に管理する場合に、建設費と家賃の補助を行います。建設費については、階段、駐車場など共用部分の整備費の三分の二を補助します。家賃については、例えば標準四人世帯で年収六六〇万円以下の場合、管理開始一年目に家賃の二十％を、二年目以降は二％ずつ減額しながら十年間補助するものです。

今後の建設スケジュールは、住宅供給公社が八幡東区天神地区に四十～五十戸程度の建設に今年度末着工します。

民間については、各区の中心部で人口が減少している四十の小学校区を対象に、十月から事業者の募集を行います。七年度内に百戸程度認定する予定で、早いものは来年度早々にも、着工できると考えています。



特定優良賃貸住宅(小倉南区)

いじめ根絶への 取り組み

議員 いじめ対策として本年四月から中学校を対象にスタートした学校巡回カウンセラール事業は、十月から小学校も対象になるなど、その充実が図られています。

しかし、いじめや不登校をなくすためには、巡回のみでなく、継続的なカウンセリングや、学校・教師への指導助言が必要と思いますが、どのように行われているのですか。

また、七年ぶりに開催された中学生会議は、どのようなものだったのでしょうか。

教育長 この事業では、これまで三十三校で一九六件の相談を受けました。相談後は、生徒のプライバシーに十分配慮した上で、カウンセラーと担任教師等とで対処方法や指導法について話し合いを行って行きます。そのほかに必要に応じて教育センターが直接生徒へのカウンセリングを続けています。

また、学校の指導や教育相談体制の改善がある場合には、校長や指導主事にアドバイザーを行っています。

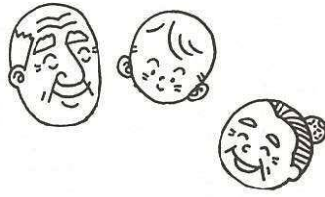
なお、八月に開かれた中学生会議では、各中学校から参加した生徒によって、いじめや校則のことなど学校生活に関して活発な意見交換が行われ

れました。いじめ問題についても、生徒自身の問題として考えるよい機会になったと思います。

会議での意見が、今後、各学校での生徒の自主的な取り組みとして生かされることを期待しています。

保健福祉事業 の充実度は？

議員 市民要望の強い民生事業費の決算額に占める割合が、毎年低下しています。市はもつと増額すべきではありませんか。



市長 六年度決算中、生活保護費を除いた民生費の額は、昭和六十二年度決算に比べて五一%伸びており、一般会計の伸び率四二%を上回っています。

また、本市は、福祉や健康づくりに対する市民要望が強いことから、高齢化社会対策をはじめとする福祉、保健の充実を最重要課題として懸命に取り組んでおり、市民の評

価も得ているところで、保健福祉局長 財源充当の面から見ると、民生費の財源は、国庫支出金などの特定財源に加え、市税などの一般財源を充当しています。一般財源の充当率は、昭和六十二年度の五〇%に対し、六年度は五七%と伸びており、厳しい財政事情のなかではありますが、市民要望の強い保健福祉行政には、予算面でも最大限の手当てをしています。

価も得ているところで、保健福祉局長 財源充当の面から見ると、民生費の財源は、国庫支出金などの特定財源に加え、市税などの一般財源を充当しています。一般財源の充当率は、昭和六十二年

度の五〇%に対し、六年度は五七%と伸びており、厳しい財政事情のなかではありますが、市民要望の強い保健福祉行政には、予算面でも最大限の手当てをしています。

渋滞、騒音 なんとかして 清滝西海岸線

議員 門司区の清滝西海岸線の開通により、国道3号の通行車両が増え、朝夕の通勤ラッシュ時には大渋滞が発生し、市民の苦情が殺到しています。

渋滞や騒音の具体的な対策をお聞かせください。

建設局長 国道3号については、清滝西海岸線開通当初朝夕のラッシュ時に門司区役所前交差点などで渋滞が生じました。その後、信号の時間調整や路面表示等により徐々に緩和されてきています。

また、騒音等については、近くの病院からも改善要望が出されています。

今後は、環境局の実態調査

等をお聞かせください。また、騒音等については、近くの病院からも改善要望が出されています。今後は、環境局の実態調査

なんとかしてよ！ 若戸大橋の 降下ばいじん

議員 若戸大橋の四車線化に伴い、通行車両が年々増加しており、地元の西戸畑地区住民から降下ばいじんの苦情が多数寄せられています。

降下ばいじん調査を環境局が実施したとのことですが、

と協議を重ねながら、現在進めている国道3号の四車線化事業の中で可能な対策を講じていきたいと考えています。

具体策としては、①車道を海岸側に移動させ歩道空間を広げる②歩道部分に植栽帯を設け防音効果を高める③騒音を減らす効果のある排水性舗装の採用などを考えています。



清滝西海岸線

市は、橋の管理者である日本道路公団に対し、どのような申し入れを行うお考えですか。

環境局長 地元住民からの要望を受け、降下ばいじん調査を若戸大橋周辺の五地点で、六年五月から一年間にわたり実施し、さらに、精密な成分分析も行いましたが、原因の究明にはいたりませんでした。

現在、市内十九カ所で常時調査をしていますが、各地点の調査結果を比較すると、若戸大橋に近い地点で高い数値が認められ、橋の影響も否定

できないと考えています。

降下ばいじんの環境基準は設定されていませんが、本年八月末に道路公団に調査結果を説明し、できるかぎりの対策を行うよう要請したところ

です。

また、九月上旬には地元代表者が、公団に対し防じん壁の設置等を要望しています。

これら要望に対する公団の回答が近く示されることになっており、その回答を待つて今後の対応を考えていきたいと思

もっと農業に親しめる環境をつくろう！



～市民農園の整備～



先日、農業政策を具体的にまとめた「北九州市農業総合計画報告書」が、計画策定検討会から提出されました。報告書には、農村地域をふれあいの場、学習の場として見直し、また、遊休農地の有効利用の面から、市民農園の整備が提案されています。

議員がこの問題を取り上げ、「都市型農業政策の目玉の一つとして、市民農園を整備しては？」との質問を行いました。

経済局長は、「本市には、農業者が開設した9カ所の市民農園があり、利用状況は100%に近く大変好評です。しかし、市街化区域の狭い農地に開設しているため駐車場や休憩施設などの施設が不十分です。市も意識調査を行い、高齢者や身体障害者にも利用できる特色ある市民農園を検討したい」と答えました。

橋脚、橋梁は大丈夫？

▼道路、河川、モノレール▲

議員 地震対策として、国は、鉄道や高速道路の耐震補強工事を実施することを決定しました。

本市でも、都市高速道路の耐震補強工事を行うこととされていますが、その他の道路や河川、モノレールの橋脚や橋梁は大丈夫ですか。

建設局長 国は、国民生活への影響が非常に大きい高架橋のうち、昭和五十五年以前の古い基準に基づいて建設された鉄筋コンクリート製の単柱橋脚や落橋防止装置の補強を、優先的に実施することにしています。

本市も、これに該当する五つの橋梁の補強工事を、平成七年度から九年度までに行う予定です。

その他の橋梁やモノレールについては、新たに示される国の指針や活断層の調査結果を踏まえて、対応していきたいと考えています。

生まれ変わるか？

若戸渡船

議員 若戸渡船は、利用者が減り続け、その経営は厳しいものになっています。経営改善策についてお伺い

全市に普及を

ふれあいむら型 市営住宅

議員 高齢者向け市営住宅「ふれあいむら竹末」（八幡西区）は生活援助員が配置されるなど大変好評です。このような住宅を全市に建設する考えはありませんか。

建築局長 一人暮らしや夫婦世帯の高齢者のための住宅として、ふれあいむら型市営住宅の整備を進めています。「ふれあいむら竹末」に続き、現在、門司区にデイサービスセンター併設の仮称「ふれあいむら社ノ木」を、また八幡東区大蔵にも特別養護老人ホームの隣接地に、同型の市営

します。経済局長 若戸渡船の利用者は、昭和三十六年度の一〇〇〇万人が六年度二〇三万人と五分の一に減少しました。一般会計からの繰入金金は市発足時から累計で、五三億円にも達しています。

そこで、増収にむけた施設整備を行うこととしています。今年度中には、腐食の激しい戸畑渡り棧橋の改修を行うこととしており、待合室等の整備についても、関係機関と話し合っていきたいと思ひます。

なお、渡船を遊覧船として活用することについては、構

住宅を建設する予定にしています。

この型の市営住宅は福祉施設との連携が前提となることから、立地的な制約があり、今後、市の高齢化社会対策総合計画を進める中で、地域の実情にあわせて検討していきたいと考えています。

療養型病床を導入！

改築後の市立門司病院

議員 市は、市立門司病院の改築にあわせ、同病院の一般病床に療養型病床を導入する計画を進めています。

この療養型病床に配置される看護職員数は、現行の基準より少なくなっていますが、医療の質的低下や看護サービ

造からみて非常に難しいと思ひますが、体験乗船等の実現には努力したいと思ひます。



戸畑渡り棧橋

スの低下につながるのではありませんか。

病院局長 この療養型病床は、慢性肝炎、糖尿病などで病状が安定期にあり、長期入院が必要な患者のための病床です。

したがって、看護婦の配置についても、一般の急性期の場合の看護体制とは異なっています。看護職員数は入院患者六人に一人の配置基準となっており、慢性期の患者の病状に対応できるものと考えています。

なお、容体の急変した患者については、病院内の急性期病棟への転棟も可能であり、医療の質的低下はおこらないと考えています。

また、改築計画の中では、リハビリ医療を充実させるため、理学診療科を新設することとしており、医療スタッフの充実についても、検討していきたいと考えています。

北九州で

大地震が起きたら…

▼防災計画と活断層調査▲

議員 阪神・淡路大震災を教訓に、本年七月、国の「防災基本計画」が改定されました。

これを受けて、本市の地域防災計画を見直すことになりましたが、どのように取り組むのですか。

大学単位互換制度

本市と下関市及び苅田町の13の4年制大学の間で、単位互換制度の導入が検討されています。

議員から、「北九州大学は、授業料徴収問題で、当初からの参加が難しいと聞いていますが、同制度の導入にあたり私立大学と歩調をあわせて、授業料を無料化しては」との質問がありました。

北九州大学事務局長は、「今回の13大学間の単位互換制度を実施するにあたり、本大学が授業料を徴収することが各大学間の合意をはかるうえで支障になるようであれば、他都市の例を参考に、授業料をどう取り扱うか、検討していきたい」と答えました。

※単位互換制度とは、他大学で履修した科目を自大学の単位と見なす制度

また、市は活断層調査に取りかかることですが、防

災対策にどのよう

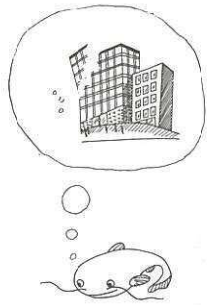
に生かすの

ですか。

市長 国の新しい防災基本計画が示されましたので、できるものから進めていきます。

まず、人命第一の観点から、初動体制の確立と住民の自主防衛活動を中心とした仕組みづくりを、早急に進めたいと思ひます。

現在、本市の地域防災計画の改定に取り組んでおり、活断層調査の結果を含めて、計画の改定作業を完了させたいと考えています。



生活道路の整備計画は?

議員 ルネッサンス構想第

二次実施計画に、「生活道路の整備」が掲げられています。今後、どのように取り組んで行くのですか。

市長 住宅地域のなかには、自宅から大きな道路(四車線以上の幹線道路)に出るまでの道路が大変狭く車の離合が難しい、といった地域がみられます。

そこで、このような地域の道路事情を改善するため、幹

線道路につながる二車線の道路(生活幹線道路)を整備していきたいと思っています。

対象は、約五〇〇m四方、二五軒ほどの面的な広がりを持ち、かつ、幹線道路への道が一車線ほどの狭い道しかないような住宅地域です。

特に、既成市街地の住宅密集地については、土地区画整理や土地改良などの面的整備を含めて検討したいと思います。

このような地域は、市内に三十カ所以上が見込まれ、事業推進には、相当の費用を要することから、年次計画を立て、また、地元の方とよく相談しながら行う考えです。

ています。

戸畑区は、雨水と汚水が一つの管を流れる合流式下水道として整備されています。

天籟寺川、洞海湾の水質保全や施設の老朽化に対応するため、鳥旗、都島、弁天の三ポンプ場の統廃合を含む下水道の再構築について、現在基本計画を策定中です。

なお、本市は三年度から、十年に一度の大雨に対応できるように整備に取り組んでおり、相当の改善がみられています。来年度から始まる下水道整備五カ年計画では雨水管の整備を重点的に取り組み、門司区の吉志地区、小倉南区の新宮根地区、八幡西区の永大丸地区を新たに整備していく予定

です。

安全性の確保を!

白島備蓄基地の原油荷役

議員 白島石油備蓄基地は供用開始まで、あと一年になりました。

白島海域のような厳しい気象、海象条件のもとでの、巨大タンカーのけい留や原油の荷役は全国にも例がありません。このような条件の中で、原油の荷役作業や基地管理の安全性は確保できるのですか。

港務局長 石油備蓄基地は、常時石油の受け払いを行う石油配分基地とは異なり、気象海象条件を見ながら作業の時期を選ぶことができるという特色を持っており、荷役作業上特段の問題はないと考えて

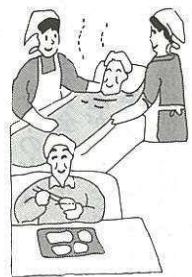
います。また、タンカーのけい留や荷役作業については、潮流や風速、波の高さなどの基本的基準の検討に基づいて、タンカー用桟橋建造届を若松海上保安部に提出しました。その結果、安全、防災、事故処理対策についての安全性が確認され、届出の承認を受けています。

なお、備蓄会社は供用開始に先立ち、「ベースの離着桟及び荷役作業」や「海上防災」のマニュアルを海上保安部に提出し、その指導を受けることになっています。適切な管理運営と安全の確保がなされるものと考えています。

保育所でデイ・サービスを?

東京都内で計画されている既存施設を利用したデイ・サービス事業を例にあげ、議員から、「本市でも、保育所などの空き室を利用して、高齢者のデイ・サービス事業を行ってはどうか。」とユニークな提案がありました。

これに対し、市長は「東京都の場合は施設の用地確保が困難なことから、既存施設を利用したデイ・サービスを行っているという事情があり、本市の場合とは異なっています。子どもとお年寄りのふれあいというのも一つの考えですが、一方で、「十分なデイ・サービスが提供できるのか?」という指摘もあります。この問題は、少し時間をかけて…」と答えました。



情報機器でOK 体育施設の予約抽選

議員 利用者の利便を図るため、体育館や公民館などの利用申し込みを、電話などで予約できるシステムを考えてみてはいいかがですか。

教育長 すでに、体育施設については一部のものを除き、空き情報の提供や予約抽選をキャプテンシステムの端末からできるようにしています。

今後は、その他の社会教育施設についても情報機器による予約システムの導入を検討していきたいと思っています。なお、市民会館や総合体育



少年の人権は守れるか?

北九州矯正センター構想

議員 法務省は、小倉刑務所、城野医療刑務所、小倉拘留所及び小倉少年鑑別所の四つの施設を統合する「北九州矯正センター構想」を計画

していますが、県弁護士会は人権尊重の立場からこの計画に反対しています。特に、少年鑑別所と刑務所の統合は、少年の人権侵害の恐れが強いとの指摘について、法務省はどのような考えを示しているのですか。

総務局長 法務省は、被收容者の人権尊重を重く認識しており、四つの矯正施設の統合にあたっては、建物の配置や居住環境の充実、適正な処遇の徹底に努めると聞いています。

具体的には、四施設を「刑務所ゾーン」、「拘留所ゾーン」、「鑑別所ゾーン」に分けて受刑者と未決收容者の建物は別棟とし、さらに壁によって明確に区分されます。また、老朽化が著しい現在の施設に比べて新施設は、機能面でも充実され、よりよい収容環境が確保されると聞いています。

市としても、人権尊重の立場から、少年の人権について十分な配慮を法務省にお願いしています。

決算特別委員会の審査から



(第1分科会審査風景)
9月11日に設置された決算特別委員会は、三つの分科会に分かれて、審査を行いました。その中から、いくつかをとりあげました。

響灘地区に経済特区を?

委員 去る八月七日、北九州FAZ推進協議会は、若松の響灘地区に、自動車流通加工に関する経済特区を設置するための調査研究に取り組みことを決定しました。

本市における特区の設置の可能性及びその経済効果、また、本市のかかわり方についてお尋ねします。

市長 現在、日本の自動車製造加工の重点は、北部九州に移りつつあります。

また、隣の韓国では、南部地域に新しい自動車産業が起りつつあり、今後、国境を越えて部品の需要や供給が出てくるといった状況が考えられます。そこで、これらをにらんで、広大な響灘地区に特区が設置できるかどうか、勉強を始めたところです。

もし設置されれば、かなりの経済効果が見込めるのではないかと考えています。

現在、日本で経済特区が設けられた例はありませんが、自動車業種に特定して、勉強を始めていこうとするものです。

FAZ法に基づく事業をすすめている本市としては、当然、研究会のメンバーとして参加し、取り組んでいきたいと考えています。

※経済特区
法的 経済的規制の緩和や、税制上の優遇措置などを受けられる地域のこと

進む高齢化 常勤ヘルパーの増員を

委員 高齢化が進む中で、今後、ホームヘルパーの需要はますます高くなると思えます。

質の高い介護を行うためにも、専門職として身分保障された常勤のホームヘルパーを増員すべきではありませんか。市長 本市では十一年度末

までに、常勤、非常勤を含めて、二、二七五人のホームヘルパーを計画的に配置することとしています。

この計画では、介護サービスの多様化に対応していくため、公的部門だけでなく、民間も含めた幅広いホームヘルプ体制を整備していきたいと考えています。

現在、国において公的介護保険制度の導入が検討されるなど、介護制度も大きく変わろうとしています。こうした動きなどを見ながら、常勤ヘルパーの確保についても検討していきたいと思っています。

道路は東へ 都市高速を横代から延伸

委員 都市高速道路の横代から九州自動車道小倉東インターまでの延伸が計画されています。

今後の整備の見通しはどうなっていますか。

また、小倉東インターから先の整備についてはどのようなになるのですか。

市長 都市高速道路の小倉東インターまでの延伸については、来年夏の都市計画決定を目指して準備しています。延伸が実現すれば、横代の交差点の混雑が緩和されるのではないかと期待しています。

小倉東インターから先の整備については、周防灘の開発や土地利用計画と併せて議論していく必要があると考えています。

違法駐車防止条例の成果は?

委員 昨年十月に違法駐車等の防止条例が施行され、一年が経過しました。

しかし、指定地域において指導員が巡回しない日は依然違法駐車が多くみられます。もっと警察と連携を強化し、集中的に違法駐車対策を講じて

もうすぐトンネル内でラジオが聴けます

これまで、北九州都市高速道路のトンネル内では、ラジオ放送が聴けず、道路利用者から改善を求める声が上がっていました。

このことについて、市長は、「交通量の多い紫川-黒崎間のトンネルについて、ラジオ放送が聴けるように工事が進められています。来年半ばの完成をめざしています」と述べました。

る必要がありますが、いかがですか。

市長 違法駐車を取り締まるとは警察に権限がありますが、この取り締まりだけでは十分ではありません。そのため、条例で重点地域を指定し、指導員が違法駐車を防止するための啓発や助言を行っています。

指導員の巡回により違法駐車は少なくなっており、一定の成果は出ていますが、まだ完全とは言えません。違法駐車を防止するには、指導員をさらに強化するのも一つの方法ですが、まず、運転者の協力が一番重要で、今後、警察や関係者との連携を密にし、啓発を強化するなど違法駐車防止対策に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

障害者基本計画の策定に向けて

委員 障害者対策を総合的に計画的に推進するため、市は障害者基本計画を作成中とのことですが、その取り組み状況をお尋ねします。

市長 今年の七月、基本計画策定委員会を作り、現在、活発に議論が交わされています。この委員会では、養護学校卒業後の活動の場、就労後の支援策などをはじめ、精神障害者に対する福祉サービス

の充実、病状が悪化した場合の緊急医療体制などについて検討が進められています。十月頃までに、中間報告を得、これを公表して、広く意見を求め、今年度中には、最終計画案の報告を受けたいと思います。

あなたも市議会を傍聴しませんか

市議会の活動状況を知るために、本会議や委員会を傍聴することができます。傍聴の受付は、会議の始まる一時間前からです。傍聴席の定員は、議場(本会議)百三十七人、各委員会室十人です。一度、傍聴されてはいかがでしょうか。会議の開催日時などのお問い合わせは、市議会事務局総務課(五八二一・二六二二)へ。



□本紙は再生紙を使用しています。

□全世帯配布 □印刷 株式会社

ゼンリンプリンテックス(門司区)